

5. 今月のトピックス 「ダイズの吸実性カメムシ類について」

◆加害するカメムシ類◆

カメムシ類は、さまざまな作物を加害します。ダイズでの被害は、種子の被害と葉の被害とに大別できます。種子の被害は、種子を吸害することによっておこります。外見上は莢に傷がないため被害は目立ちませんが、種子が直接吸害されるため、著しく減収します。葉や茎の被害は、吸汁することによっておこります。

種子を加害する代表的なカメムシ類は、アオクサカメムシ(図 1)、イチモンジカメムシ(図 2)、ホソヘリカメムシ(図 3)、ミナミアオカメムシ(図 4)です。



図 1. アオクサカメムシ (左:全体、右:腹部背板)



図 2. イチモンジカメムシ



図 3. ホソヘリカメムシ



図 4. ミナミアオカメムシ (左:全体、右:腹部背板)

◆被害の様子◆

若い莢を吸害すると莢が黄変して落下します。種子が大きくなった莢を吸害すると莢は落ちないものの種子が被害粒となります。被害の程度は、種子が小さいほど著しくなります。

被害粒は、萎縮粒(しぼみ粒)、変形粒(へこみ粒)、変色粒(しみ粒)(図 5)となり、品質を低下させます。



図 5. 被害粒 (左:萎縮粒、中:変形粒、右:変色粒)

◆防除対策◆

耕種的防除法

- 1) 畦畔雑草を除去しましょう。

化学的防除法

- 1) 薬剤散布による防除を行きましょう。
- 2) 結莢期から子実肥大期の防除が効果的です。
- 3) 発生が続く場合は、追加防除が必要です。